

# 取扱説明書



## フリーモーション アイトニック

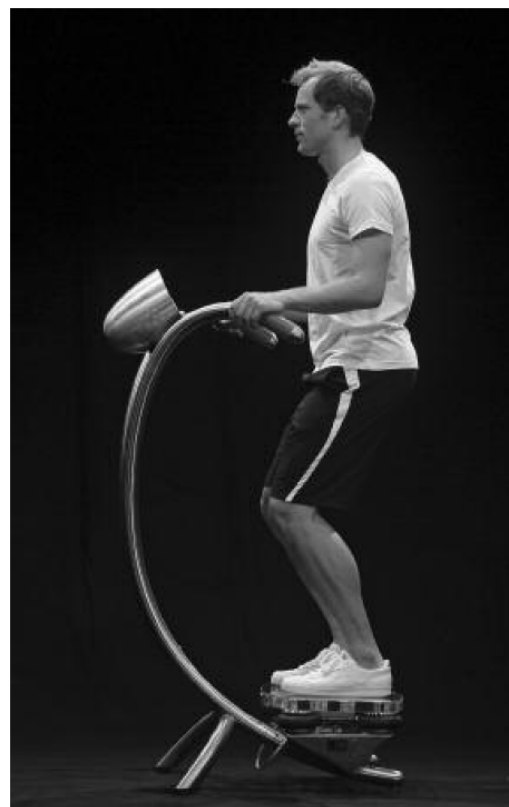
FMXT0116

このたびは、お買い上げいただき、まことに  
ありがとうございます。

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に  
この「取扱説明書」をよくお読みください。

「取扱説明書」は

- ・1部を現場用として、常に参照できる状態を  
保ってください。
- ・1部を保存用として大切に保管してください。






**SAKAimed**

## 安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用いただくために、  
各注意事項を読んで必ずお守りください。

表示の意味は次のようになっています。

-  **危険** … 取り扱いを誤ると、  
死亡または重傷を負うことに至るもの
-  **警告** … 取り扱いを誤ると、  
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの
-  **注意** … 取り扱いを誤ると、  
傷害または物的損害の発生が想定されるもの



## 危険

- 必ず本機器の管理者や指導者の監督のもとで、使用上の注意などの説明を受けた上で使用してください。
- 以下のような病歴や症状などを持つ方は、医師と相談の上で使用してください。
  - ・膝や腰などに骨の移植を行ったことのある方
  - ・ペースメーカーを使用している方
  - ・最近、ピン・ボルトなどの埋め込み手術などを行なった方
  - ・激しい痛みを伴うヘルニア、椎間板ヘルニアや脊柱炎といった脊柱の病気の方
  - ・重大な心臓や血管の病気の方や血栓症の方
  - ・腫瘍の方
  - ・重度の偏頭痛のある方
  - ・てんかんの有る方
  - ・重度の糖尿病の方
  - ・最近できた傷やけがのある方
  - ・妊娠している方、可能性のある方
- 機器から異音・異臭がしたら、直ちに使用を中止して、最寄りの営業所にご連絡ください。
- 機器に水をかけないでください。また、小さな金属物などを機器の上に置かないでください。
- 1日15分以上かつ週に3日以上の使用はしないでください。



## 警告

- プラットフォームの制限体重は 181 kgです。制限を越えた使用はしないでください。
- 2人以上で同時に使用しないでください。
- エクササイズ後、プラットフォームから降りるときは十分に注意してください。バイブレーションエクササイズ後はいつもと感覚が異なっていることがあります。
- ご使用の際は必ず規定の電源電圧使用してください。
- 電源コードは延長コードを使用しないでください。また熱源の近くなどには接続しないでください。



## 注意

- 使用する前に本機器に異常がないことを確認してください。
- 小さな子供が近づかないように注意してください。使用する際は回りに人がいないことを確認してください。
- エクササイズ中にめまい、動悸、気分が悪くなるなどの症状があらわれた場合は、ただちにエクササイズを中止してください。
- エクササイズに適した服装を着用してください。
- プラットフォームに立つ時の姿勢は背中が丸くならないようにしっかりと伸ばし、膝をわずかに曲げてバランスを取るようにします。
- プラットフォームを動作させたまま放置させないでください。

# 目次

<b>各部の名称</b>	<b>5</b>
<b>ご使用になる前に</b>	<b>6</b>
環境について .....	6
設置について .....	6
移動について .....	6
<b>使用方法</b>	<b>7</b>
電源の投入 .....	7
ストラップ .....	7
プラットフォームマット .....	7
エクササイズ手順 .....	8
<b>お手入れの仕方</b>	<b>9</b>
<b>機器の保守・点検</b>	<b>9</b>
<b>このようなときには</b>	<b>10</b>
<b>保証とアフターサービス</b>	<b>11</b>
<b>仕様</b>	<b>11</b>

## 各部の名称



本体の外観は予告なしに変更される場合があります。

## ご使用になる前に

ご使用前に本製品について P.9 の始業点検項目にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

### 環境について

下記のような場所での使用及び保管は避けてください。

- 室外及び直射日光のあたるところ。
- 水平でない床面や段差のある不安定なところ。
- 周囲温度が 10℃～35℃の範囲を超えるところ。
- 湿気、ほこりの多いところ。
- 必要に応じてカーペットや床面を保護するためにマットを引いてください。

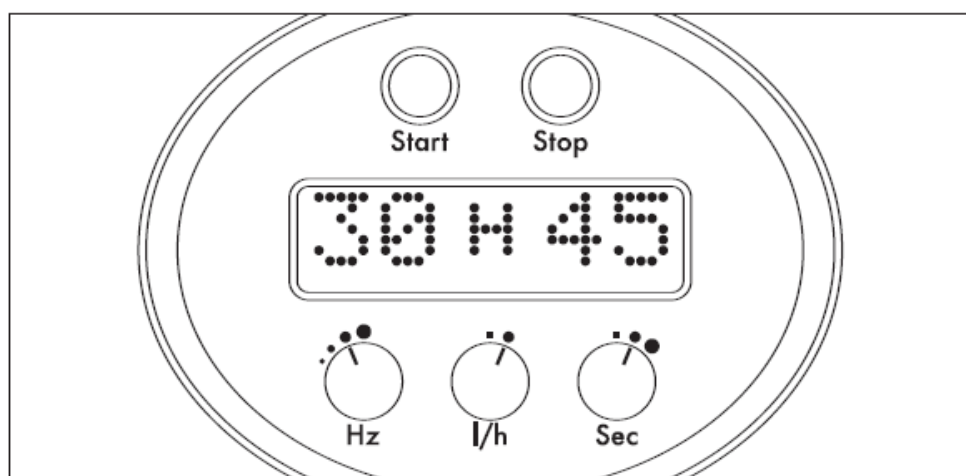
### 設置について

本体設置後、がたつくような場合には、本体下のレベリングフットでがたつきを調節してください。

### 移動について

アイトニック本体を移動させる場合には必ず 2 人以上で行ってください。また作業を行う前に必ず外部トランスおよび本体の電源コードを抜いてください。

# 使用方法



操作パネル

## 電源の投入



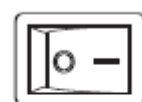
注意

室内の温度が低い場合には、暖房を入れ室内が 10 度以上になってから本体の電源を ON するようにしてください。室温が低いまま電源を入れるとディスプレイやその他の電気部品が故障する恐れがあります。

外部トランスの電源コードを壁コンセントに差し込み、次に本体の電源コードを外部トランスのコンセントに差し込みます。外部トランスの電源スイッチを ON し、次に本体のプラットフォームの右側面電源コードの近くにある ON/OFF スwitch を ON 側 (I) にしてください。

ディスプレイが点灯し、ソフトウェアバージョンがスクロール表示されます。

その後、「ITONIC」とロゴが表示され操作できるようになります。



オン  
ポジション

## ストラップ

いくつかのエクササイズではプラットフォームの下にあるフックにストラップを通して使用します。エクササイズを開始する前にストラップの長さを調節しておいてください。

## プラットフォームマット

いくつかのエクササイズではプラットフォームにマットを乗せて使用します。


## エクササイズ手順

### ■ セッティング

1	「 <b>Start</b> 」ボタンを押してください。	
2	「 <b>Hz</b> 」の設定	バイブレーション 25Hz、30Hz、35Hz、 マッサージ 50Hz から振動周波数をダイヤルで選択します。
3	「 <b>I/h</b> 」の設定	プラットフォームの振幅「 <b>Low/High</b> 」を設定します。
4	「 <b>Sec</b> 」の設定	バイブレーションの時間を設定します。 時間は 30、45、60 秒の中から選択します。

選択されたそれぞれの項目は、それぞれのダイヤルの上のディスプレイに選択された内容が表示されます。

### ■ エクササイズ

1	ディスプレイコンソール上の「 <b>Start</b> 」ボタンを押すか、本体右フレーム下側にある「 <b>Start</b> 」ボタンを押してください。	
2	プラットフォームで行うエクササイズについては、別冊のエクササイズ集を参照してください。プラットフォームに立つ場合はわずかに膝を曲げた状態で、バランスを保つようにします。エクササイズ中はディスプレイ上の時間がカウントダウンされます。「0」になると自動的に停止します。「 <b>Stop</b> 」ボタンを押すいつでもエクササイズを終了することができます。	
3	連続したエクササイズを行う場合は エクササイズの終了後、再度セッティングを行うことで連続したエクササイズを行うことができます。 セッティング後、同様に「 <b>Start</b> 」ボタンを押してください。	



**警告** 1 日 15 分以上かつ週 3 日以上の使用はしないでください。

### ■ ご注意

エクササイズのセッティングを決定した後、30 秒間「**Start**」ボタンを押さない場合 または  
エクササイズ終了後、90 秒以内に新しいセッティングまたはエクササイズを開始しない場合 は、プラットフォームはスリープモードに入り、ディスプレイに「**ITONIC**」の文字がスクロールされます。スリープモードを抜けるためには「**Start**」ボタンを押してください。



# お手入れの仕方

本体、操作パネルなどが汚れた場合は柔らかい布（綿 100%のものを推奨）でふき取ってください。汚れがひどい場合は中性の多目的クリーナーなどを布に吹きつけたもので拭いてください。



## 注意

- ・お手入れは電源をOFFにし、コンセントから電源コードを抜いてから行うようにしてください。
- ・クリーナーをプラットフォームや操作パネルに直接吹きかけないでください。アンモニアを含むもの、酸性のものは使用しないでください。

# 機器の保守・点検

- 本製品を使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず始業点検を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- 点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

## 始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	本体	目視 操作パネル、プラットフォームなど本体に破損の無いことを確認
機能	動作	「 <b>Start</b> 」ボタンを押し、プラットフォームが振動すること、 「 <b>Stop</b> 」ボタンで停止することを確認
	「Hz」の切り替え	「Hz」ダイヤルでプラットフォームの振動周波数が変わることを確認 選択された数値ディスプレイに表示されることを確認
	「l/h」の切り替え	「l/h」ダイヤルでプラットフォームの振幅が変わることを確認 選択された振幅がディスプレイに表示されることを確認
	「Sec」の切り替え	「Sec」ダイヤルでプラットフォームの動作時間が変わることを確認 選択された時間がディスプレイに表示されることを確認

## このようなときには

症 状	原 因	対 策
ディスプレイが表示しない	電源スイッチが入っていない。 電源コードが接続されていない。 壁側コンセントに電気がきていない。	電源スイッチを入れてください。 電源コードを接続してください。 別のコンセントを使用してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズを交換してください。  再発するようであれば、担当の営業所に連絡してください。
ディスプレイの表示がおかしい (文字が欠けるなど)	初期処理の失敗	電源を OFF にして、5～10秒後に再度 ON にしてください。  再発するようであれば、担当の営業所に連絡してください。
	ディスプレイの故障	担当の営業所に連絡してください。
「Start」ボタンを押しても動作しない 「Stop」ボタンを押しても動作が停止しない	「Start」ボタンの動作不良 「Stop」ボタンの動作不良	各ボタンの確認 (押されたままになっていないか)  改善されない場合は、担当の営業所に連絡してください。
	モーター接続ケーブルの接触不良	電源を OFF にして、モーターコネクタの接続を確認してください。  再発するようであれば、担当の営業所に連絡してください。

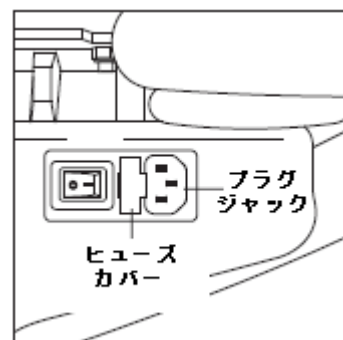
### ■ヒューズの交換



#### 注意

・ヒューズの交換作業を行う場合は電源をOFFにし、コンセントから電源コードを抜いてから行うようにしてください。

1. 電源を切り、電源コードを取り外します。
2. マイナスドライバーなど先端の平らなものでヒューズカバーを取り外します。
3. ヒューズを確認し、切れているようであれば、新しいものに交換します。
4. ヒューズカバーを戻し、電源コードを接続します。
5. 電源を入れ、動作するか確認します。



# 保証とアフターサービス

## 保証書と保証期間

- 保証書(別添)はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただきます場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合1年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

## 修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。
- 機種名 : *FMXT0116*
- お買い上げ年月: 年 月
- 故障状況(できるだけ詳細に)
- 住所, 氏名, 電話番号
- メーカーより指示のあるとき以外は、決してあけたり分解しないでください。

## 消耗品 (使用により、磨耗・劣化・変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの)

- 正常な使用において、交換の目安が約2年のもの。  
ストラップ / プラットフォームマット
- 点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

## 耐用期間 10年: 保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

## 保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

# 仕様

外形寸法	805(W) × 880(D) × 1410(H) mm
本体質量	61kg
電源	単相100V 50/60HZ 5A (外部トランス添付)
電力	385W
制限体重	181kg
動作環境	気温:10~30℃ , 湿度 10~60%

・都合により予告なく仕様の変更を行う場合がありますので、ご了承ください。